

登録と狂犬病予防注射に関する関係法令

抜粋

狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）

（登録）

第 4 条 犬の所有者は、犬を取得した日（生後 90 日以内の犬を取得した場合にあっては、生後 90 日を経過した日）から 30 日以内に、厚生労働省令の定めるところにより、その犬の所在地を管轄する市町村町（特別区にあっては、区長。以下同じ。）に犬の登録を申請しなければならない。ただし、この条の規定により登録を受けた犬については、この限りでない。

（予防注射）

第 5 条 犬の所有者（所有者以外の者が管理する場合には、その者。以下同じ。）は、その犬について、厚生労働省令の定めるところにより、狂犬病の予防注射を毎年 1 回受けさせなければならない。

（罰則）

第 27 条 次の各号の一に該当する者は、20 万円以下の罰金に処する。

- 一 第 4 条の規定に違反して犬の登録を申請せず、鑑札を犬に着けず、又は届出をしなかった者
- 二 第 5 条の規定に違反して犬に予防注射を受けさせず、又は注射済票を着けなかった者

狂犬病予防法施行規則（昭和 25 年厚生省令第 52 号）

（予防注射の時期）

- 第 11 条 生後 91 日以上（次項に規定する犬であって、3 月 2 日から 6 月 30 日までの間に所有されるに至ったものを除く。）の所有者は法第 5 条第 1 項の規定により、その犬について、狂犬病の予防注射を 4 月 1 日から 6 月 30 日までの間に 1 回受けさせなければならない。ただし、3 月 2 日以降において既に狂犬病の予防注射を受けた犬については、この限りではない。
- 2 生後 91 日以上（次項に規定する犬であって、3 月 2 日（1 月 1 日から 5 月 31 日までの間にその犬を所有するに至った場合においては、前年の 3 月 2 日）以降に狂犬病の予防注射を受けていないもの又は受けたかどうか明らかでないものを所有するに至った者は、法第 5 条第 1 項の規定により、その犬について、その犬を所有するに至った日から 30 日以内に狂犬病の予防注射を受けさせなければならない。
- 3 前 2 項の場合において、狂犬病の予防注射を受けさせなければならない犬を所有者以外の者が管理するときは、第 1 項中「所有される」とあるのは「管理される」と、「所有者」とあるのは「管理者」と、前項中「所有する」とあるのは「管理する」と、それぞれ読み替えるものとする。